



【イムデトラ(1コース目)療法について】 (イムデトラ)



ID:

様

1

コース目



お薬の名前と治療のスケジュール(副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目
デキサート注	CRS予防	30分																													
イムデトラ注	分子標的薬	1時間																													



治療による副作用

2コース目からは2週間毎の点滴になります。

注意が必要な時期

	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目
自覚症状	サイトカイン放出症候群(CRS)																												
	発熱や寒気、吐き気、頭痛、めまい、ふらつき、脈が速い、息苦しい、血圧が低いなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																												
検査値	神経症状																												
	立ちくらみ、力が入らない、言葉が出ない、ふるえ、けいれん、昼間に眠気強い、読み書きが出来ない、物忘れなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																												
検査値	白血球減少																												
	感染しやすくなりますので、手洗いうがい心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																												
	赤血球減少(貧血)																												
検査値	貧血の症状(動作時の息切れ、動悸)がでたりします。転倒に注意しましょう。																												
	血小板減少																												
	出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																												

その他、間質性肺炎に注意してください。空咳、息切れ等の症状がある場合は、速やかに連絡して下さい。



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

香川大学医学部附属病院薬剤部



【イムデトラ(2コース目以降)療法について】 (イムデトラ)



ID:

様

2

コース目



お薬の名前と治療のスケジュール(副作用の状況を考慮して、抗がん薬の影響が強く残っていると考えられる場合は、次の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目
イムデトラ注	分子標的薬	1時間																													



治療による副作用

:注意が必要な時期

		1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	1日目
自覚症状	サイトカイン放出症候群(CRS)																													
		発熱や寒気、吐き気、頭痛、めまい、ふらつき、脈が速い、息苦しい、血圧が低いなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																												
神経症状																														
		立ちくらみ、力が入らない、言葉が出ない、ふるえ、けいれん、屋間に眠気が強い、読み書きが出来ない、物忘れなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																												
検査値	白血球減少																													
		感染しやすくなりますので、手洗いうがいを中心しましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																												
	赤血球減少(貧血)																													
		貧血の症状(動作時の息切れ、動悸)がでたりします。転倒に注意しましょう。																												
血小板減少																														
		出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																												

その他、間質性肺炎に注意してください。空咳、息切れ等の症状がある場合は、速やかに連絡して下さい。



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。

香川大学医学部附属病院薬剤部